

ユニシス研究会 2017年度 研究活動 テーマ候補 《中部支部》

募集番号	キーワード	募集対象	テーマ タイトル案	活動内容（案）
1	AI（人工知能）	ユーザ企業の 情報システム部門 (研究、企画、SE、プログラマー含む)	あなたの会社で「本当に役立つAI」とは？	将棋やチェス、そして囲碁まで、人工知能(AI)が人間の頭脳を上回るシーンが目立ってきている。ビジネスの現場においても、業務課題の解決や改善に一役買ってくれるのではないかを窺う声も聞こえてきている。この可能性を探り、提言する。 人工知能は、ビジネスをどう進化させるのか。その活用は、個人的にはスマホでは便利になってきている。そこで、職場での事務処理などで、検証や適用を通じて、ビジネス変革への活用の提言をする。
			AIを使った実証実験 (何について実験するかは後で決めるとして)	昨今、『AI』を利用した各種実証実験が、さまざまな業種業態で検討あるいは実施されている。単にAIといっても範囲が膨大すぎるので、検証する場合には目的なりキーワードを選定し進めるべきではあると思うが、可能性の部分を探ってみたい。こういった分野が得意なのか？ …等々。
			Deep Learningを利用したビジネスモデル	AI技術が急激に進歩した中でDeep Learningを利用した考えられる新たなビジネスモデルの創出についての考察。また、考察をもとにした実現方法の研究、実証実験結果をもとに、新たな課題やその対策についての提言を行う。
			AI技術を用いた未来生活の可視化	AI技術を用いる生活は、現在でも掃除ロボット等で既に入り込んでいる。 10年、20年先に我々の生活するなかで、どんなことを活用し、共存していくべきかについて研究する。 ・日本の高齢化社会におけるAIロボットの活躍する未来 ・自動運転技術が進む自動車無事故の未来 ・人間を超えない知能リミッター技術
2	働き方改革・変革	ユーザー企業の 情報システム部門 管理部門	ITの活用で職場の問題を解決	人手不足、人材育成がなかなか計画的に進まないなかで、ルーティン業務や管理業務をITを活用することでなにか改善できないか？
			働き方改革へのITの果たす役割	国の人口減少が進む中で、「働き方改革」は早期実現が必要な重要課題である。これまでもITは仕事の生産性向上に大きく寄与してきたが、技術革新が進むITの面からどのような役割を果たすことができるのかについて提言する。
			システム開発者における働き方の変革	過重労働回避を目指し、働き方の変革が各企業に求められている。ICTや情報共有、効率化の観点から従来型の時間労働からの脱却を図るための施策を提言する。
3	セキュリティ	ユーザー企業のITインフラ部門の管理者・担当者	セキュリティについて 利便性と機密性のバランス	インターネットと接続しない世界は考えられない現在、一方的にセキュリティのハードルをあげるだけでは、業務効率に影響する項目が散見されるようになった。一方、コンプライアンスの関係上、顧客の個人情報始め、漏洩によるリスクは年々拡大している。業務推進に当たり、利便性を確保しながらセキュアな環境を確保するにはどうすればよいかを検討し、各社共通のガイドラインを考える。
			アイデンティティについて (Identity is the New Perimeter)	企業の情報システムは、クラウド、スマートデバイス、多様な雇用・就業形態の普及によって、ファイアウォールで城のように守る境界型セキュリティ対策では成り立たなくなっている。厳密なユーザ認証で確立したアイデンティティが、新たなセキュリティ境界になるといわれている。(Identity is the New Perimeter!) 当活動では、アイデンティティの基礎技術の調査、活用方法の研究(課題の抽出、解決策の検討)を実施し、その技術の活用により実現できるビジネス変革(デジタルトランスフォーメーション)について提言する。
4	ブロックチェーン	ユーザー企業の IT企画部門の管理者・担当者	ブロックチェーンによる 新たなビジネスモデルの探求	近年のFinTechの潮流の中で、大きな話題となった「ブロックチェーン」。対象分野は狭義の金融から始まり、応用分野として様々な広がりを見せている。そうした中で、金融以外の応用分野での新たなビジネスモデル例から活用方法を探求する。
			ブロックチェーンっていったい何？	ビットコイン等の仮想通貨や、その基盤技術であるブロックチェーンは、極めて斬新な技術であるものの、なかなか理解されにくく、依然多くの誤解が存在している。また、何がすごいのかよくわからない人も多いため、まずは理解するところから始め、今後の展望について研究していく。